



ママと一緒に小児肥満を考える

コメタボ君の一大決心

about metabolic syndrome

STEP
05

小児肥満の判定方法

判定方法 1

$$\text{肥満度(%)} = 100 \times (\text{現在の体重} - \text{標準体重}) / \text{標準体重}$$

・幼児

肥満度15%以上を太り気味
太り気味 $\geq +15\%$
やや太り過ぎ $\geq +20\%$
太り過ぎ $\geq +30\%$

・6歳～17歳

軽度肥満 $\geq +20\%$
中等度肥満 $\geq +30\%$
高度肥満 $\geq +50\%$



肥満度の簡易グラフ

3ヶ月毎につけてみてください。肥満の判定にあてはまらなくても、
肥満度が増加傾向にあれば注意しましょう。
肥満度30%以上の中等度肥満から合併症が高くなります。

判定方法 2

$$\text{BMI(Body Mass Index)} = \text{体重(kg)} / \text{身長(m)}^2$$

小児では年齢とともに変動するので、

成人同様の判定はできません。

成人では、 $\text{BMI} \geq 25$ 肥満



判定方法 3

腹囲

小学生は75cm以上、中学生では80cm以上で
腹部の脂肪が増加しています。

小児で腹囲が80cm以上(小学生は75cm以上)あれば内臓脂肪型肥満、すなわち
糖尿病、高血圧、脂肪肝、脂質異常症などのい合併率が高くなります。体重を測定
するように、腹囲の測定も重要です。

判定方法 4

体脂肪率

男性13歳未満 $>25\%$ 13歳以上 $>25\%$

女性11歳未満 $>30\%$ 11歳以上 $>35\%$

判定方法 5

成長曲線

成長曲線(体重)の基準線を横切って上向きであれば、肥満は増悪しています。
身長の伸びが悪い場合は、二次性肥満を疑います。